

令和4年度（2022年度） 小国郷公立病院組合  
 医師・看護職員及び医療従事者等の負担の軽減及び処遇の改善に資する計画表、実施状況及び評価

No.	対応方針	現状・問題点	計 画	実施状況及び評価
1	医師と医療関係職員、事務職員等との役割分担	1. 医師に対する事務補助体制が整っていない。 ・代行入力 ・文書作成代行補助	① 医師事務の業務をタスクできる事務補助者の導入を行う予定で体制を整えている（継続中）	・医師事務作業補助者の本格導入に向けて令和5年1月より準備を整え、2月より1名を総合診療科に配置し、令和5年度より本格始動を予定している。
2	医師の勤務体制	1. 医師の当直体制が整備されていない。	① 連続当直を行わない勤務体制の確立を行う。 ② 医師確保に繋がる取り組みの強化を継続する。 ③ 当直明け医師の負担軽減に関する取り組みを継続する。	・勤務体制の見直しを検討中 ・医師確保に向け取組中 ・当直明け医師の負担軽減に向け働き方を検討している
3	業務内容の見直し	1. 看護記録に時間がかかる。 ・看護記録のマニュアル活用が不十分 ・マニュアルの見直しが必要 ・記録監査による評価ができていない  2. 看護師と看護補助者との業務分担が図れていない。	① 業務改善委員による記録の監査を実行し、問題点を見いだす。 ② 看護記録マニュアルの見直しを行う。 ③ マニュアルを活用した記録を行い、記録の時間短縮を目指す。  ① 看護補助者の活用に関する研修に参加し、指導者を育成する。また、院内の看護職を対象に院内研修会を開催し、活用方法を周知する。 ② 看護補助者に必要な基礎的な知識・技術を習得する為の研修を計画的に実施する。更に、実践指導を充実することで、看護業務の負担軽減に繋げる。 ③ 看護師との協働を進めるために、問題解決のための話し合いの場を設ける。（メンタル面のフォローも含む）	・看護記録マニュアルの見直しを行った結果、看護計画に結び付いていない。多職種連携記録になっていないという問題点があがった。 ①退院支援に向けた情報と記録の統一 ②多職種で連携した記録で方向性を統一 ③看護記録の簡略化と記録時間短縮を目的に多職種共同記録用を作成し運用する予定である。  ・看護補助者のための看護管理指導者研修に8名受講しマニュアルに沿って指導・技術チェックを行っている。また、年1回の全体研修も実施し、院内看護職に活用方法を周知している。 ・看護補助者の人員不足を補うため、令和5年4月から外国人補助者を雇い入れる。今後の検討課題として ①外国人補助者向けマニュアルの作成 ②外国人補助者に向けての指導・教育を整

令和4年度（2022年度） 小国郷公立病院組合  
 医師・看護職員及び医療従事者等の負担の軽減及び処遇の改善に資する計画表、実施状況及び評価

No.	対応方針	現状・問題点	計 画	実施状況及び評価
				<p>える。</p> <p>③引き続き、看護補助者の募集を実施する。</p> <p>④外国人補助者の住居や勤務体制等、言葉風土の違いを考慮し、コミュニケーションを図りながら整える。</p>
		<p>3. 新人教育の体制が整っていない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍が続き外部研修が中止されている為、院内研修のみになる。</li> </ul>	<p>① 院内での新人教育の充実を図り、年度内に新人が独り立ちでき、夜勤要員になることを目指す。</p> <p>② 新人教育指導者研修を受講する事で、指導者の育成を図り、新人教育の充実を目指す。</p> <p>③ 働きやすい環境を作るための優先的課題をあげ、取り組みを始める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・院内の新人教育も安定した指導ができ始めている。年内には新人が独り立ちし夜勤要員となっている。</li> <li>・新人教育指導者8人に加え2人研修受講。今年度も研修受講者うい増やし、新人教育の充実を図る予定。</li> <li>・環境改善として取組んでいること。</li> </ul> <p>①業務改善、記録の見直し、委員会の時間内設置と見直し</p> <p>②多職種とのタスクスフト・シェア</p> <p>③コミュニケーションを図り思いに寄り添う。</p>
		<p>4. 職種との業務分担や協力が必要（薬剤部）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・配薬車使用における内服セットの協力が継続できている。</li> <li>・薬剤師1名が産休に入る事で、看護師と業務分担が必要になる。</li> <li>・麻薬取り扱いについての研修会を実施し、取り扱いの理解を深めている。</li> </ul>	<p>① 現行のまま、内服セットの協力を継続する。</p> <p>② 薬剤部と病棟看護師で業務分担し、負担軽減できるように協力していく。</p> <p>③ 年1回の研修会を継続し、麻薬取り扱いの注意点を確認する事で、安全な取り扱い方を習得する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・薬局に薬VANシステムを導入し、在庫管理が厳重になってきたことで、紛失など薬局に関するインシデントが増えている。特に病棟ストック薬に関しては、管理方法の見直しが必要だと思われる。薬剤師1人体制になっているため、看護師に余剰人員があるときは、薬局にリリーフしている。</li> </ul>

令和4年度（2022年度） 小国郷公立病院組合  
 医師・看護職員及び医療従事者等の負担の軽減及び処遇の改善に資する計画表、実施状況及び評価

No.	対応方針	現状・問題点	計 画	実施状況及び評価
		<p>(事務部)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・病棟や外来との作業分担が明確にされていない。</li> <li>・人事部や電話交換手の配置がなく、作業ロスが多い。</li> </ul> <p>(検査部)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多重業務を抱える中、健診業務等で対応困難な場合が生じる。</li> </ul> <p>(レントゲン部門)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新人の入職があり、業務に慣れるまでは、負担軽減の為に連携をより深め協力する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 病棟や外来との作業を明文化する事で協働を進める。</li> <li>② 外来及び病棟にクラークを配置し、業務分担を図る。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 看護部で対応可能な採血やECG等に関して必要に応じて、代行で対応を行う。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 情報共有を行い、連携を継続していく。</li> <li>② 互いに声かけを行い、メンタル面でもフォローを心がける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医師事務補助者導入に向け、業務量調査や業務内容を明文化し、令和2年5月より徐々に移行している。今後はシステム化し、外来看護師配置数を検討する。</li> <li>・実施中、継続していく。</li> <li>・実施中、継続していく。</li> </ul>
4	人材確保	<p>1. 看護師及び看護補助者の人材不足が続いている。また、短期間で離職する人が少なくない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ハローワークやナースセンターへの登録を続ける。</li> <li>② 就職ガイダンスへの参加を継続する。</li> <li>③ 院内掲示や口コミでの人材確保を継続する。</li> <li>④ 離職に繋がる原因検索を行い、改善対策を検討する事で環境改善に繋げていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就職ガイダンスへの参加や高校訪問を行い、就職活動を実施中。病院PR動画やパンフレットの見直しを行い改正した。</li> <li>・今後も同が・パンフレットを見直し、ホームページ、SMSなどあらゆる情報ツールをかつようしていけるよう検討していく。</li> <li>・コロナ禍でコミュニケーションが取りづらい場面があったが、個人面談の場を設けた。令和4年度は、1人の離職があったが新人はいなかった。今年度もコミュニケーションをとり働きやすい環境づくりに取り組む。</li> </ul>

令和4年度（2022年度） 小国郷公立病院組合  
 医師・看護職員及び医療従事者等の負担の軽減及び処遇の改善に資する計画表、実施状況及び評価

No.	対応方針	現状・問題点	計 画	実施状況及び評価
		2. 奨学金制度についての周知が学校等に図れていない。  3. 継続して働き続けられる環境や処遇の改善が求められている。	① 地元の中学校や高校、以前訪問した専門学校を中心に訪問し、奨学金制度について周知を図っていく。  ① 時間外勤務を減らす為に、業務の見直しを行う。 ② 委員会活動をできるだけ時間内に行う対策を検討する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元中学・高校の訪問が出来なかったため、今年度は実施する。</li> <li>・看護師の負担軽減などに関するアンケート調査を実施し、そこから上がる問題点を基に業務改善を検討していく。1回/月の病棟勉強会も、グループワークを中心に業務改善策を検討し実施している。</li> <li>① 申し送り時間の短縮をすることで、個々の患者様のカンファレンスを行う時間が増えた。</li> <li>② 委員会活動に関しては、医療安全、広報、災害以外は時間内にできてきた。今後も検討していく。</li> </ul>
5	看護職員（看護師・准看護師・看護補助者）における教育体制整備	看護職員の教育体制が整っていない。	（看護師） ① 新人においては、年間計画に準じて院内研修や院外研修に参加を勧める。また、学研の教材を利用して自己学習する事を勧める。  ② 既存の職員では、院外研修や院内研修への参加及び学研の教材の活用を進め、スキルアップを目指す。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新人看護師は院内研修参加率100%、院外研修では、5項目（新人教育、ECG、医療安全等）に参加、自己研鑽している。また、eラーニングを活用した新人教育も行っている。院内の新人教育も安定した指導で体制が整ってきた。</li> <li>・既存看護師は、院内研修のZoom参加を整えた事で、参加率が向上した。eラーニングの受講率は50%に満たないため、院内研修時に必須聴取項目を設け研鑽を促していく。</li> </ul>

令和4年度（2022年度） 小国郷公立病院組合  
 医師・看護職員及び医療従事者等の負担の軽減及び処遇の改善に資する計画表、実施状況及び評価

No.	対応方針	現状・問題点	計 画	実施状況及び評価
			(看護補助者) ① 看護補助者活用の研修会を受講し、指導者の育成を図る。 ② 看護補助者の質の向上を図れる様に研修会を定期的 に開催していく。	・令和4年度は、看護管理指導者研修に2名参加し計8名となる。毎月eラーニングとマニュアルを活用した研修と技術チェックを行っている。令和5年度に入職する外国人看護補助者の受け入れ体制準備も含め、1回/2ヶ月程度指導者も研修会を行っている。